

びいあらいぶ Be Alive!

2015年3月1回号

発行元：パルシステム共済生活協同組合連合会
共済事業部『びいあらいぶ』編集委員会

パルシステムの保障

<http://www.palsystem-kyosai.coop/>

パルシステムの保障

検索

成長をバックアップ!

子どもに関する「お金」のはなし。

進級や進学と、春は子どもの成長を実感する機会の多い季節です。

そんな子どもたちの「これから」に対する備えは万全ですか？

子どもの健やかな成長には、保護者の支えが必要です。いざというときに子どもも保護者も困らないよう、子どもに関わる「お金」について考えてみませんか。

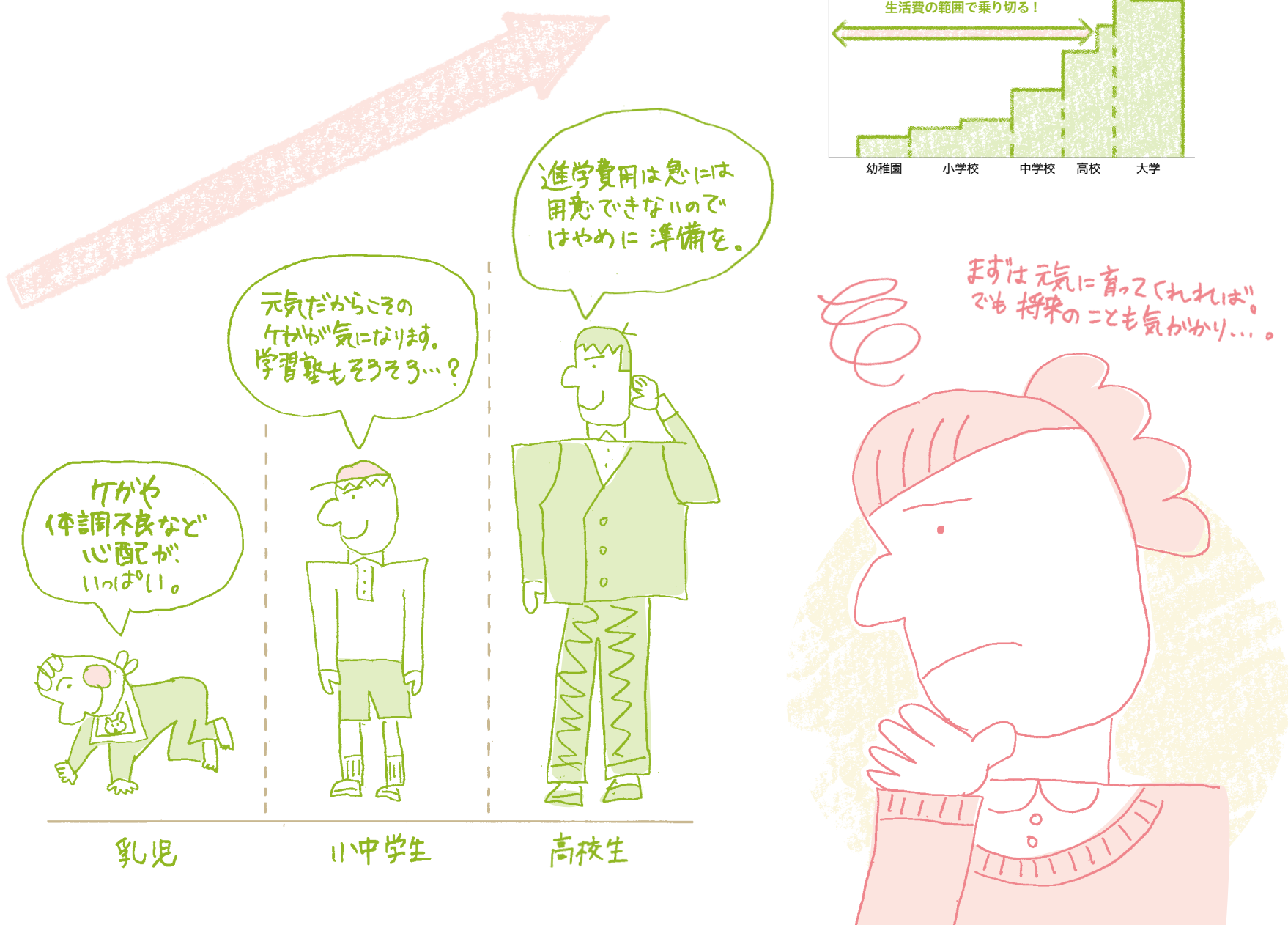
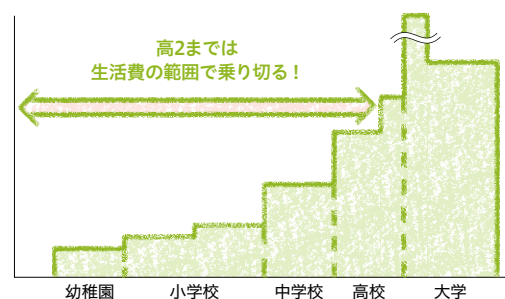
●次回『びいあらいぶ』は5月1回

健やかに育ってほしいから ～「病気」「ケガ」への備え～

病気や事故はいつ起こるか予測不能。さらに、進級や進学によって生活環境が変わる春先は、子どものケガが増える時期と言われています。危険な場所や行動について子どもとしっかり確認しておくとともに、万が一の場合の医療費についても備えておきたいですね。

希望する道へ進むため ～「教育資金」の備え～

人生の三大資金のひとつとも言われている「教育費」。長期にわたって必要になる、かなり大きな出費です。しかし、子どもの年齢や学年にあわせて今後の予想をしやすい出費なので、事前の予測と準備がポイント。早く準備を始めるほど月々の負担が軽くなります。



きちんと把握しておきたい

「健康への備え」と「教育費」



健康への備え

「病気」と「ケガ」、両方の備えを

子どもは年代によって、ケガの内容やかかりやすい病気が違います。「まだ小さいから大丈夫」と考えず、年齢にあった備えをしましょう。たとえば、乳児は体調不良による入院、小中高生になると部活などによるケガが目立つようになります。

公的な保障もしっかりチェック

子どもの医療費を助成する公的な制度を利用すれば、医療機関等へ支払う費用の負担が少なくなります。対象となる子どもの年齢や助成の内容は市区町村によって異なりますので、居住地域の役所のホームページや窓口でしっかり確認をしておきましょう。

将来への備え

学資保険と貯蓄、両方を見据えて

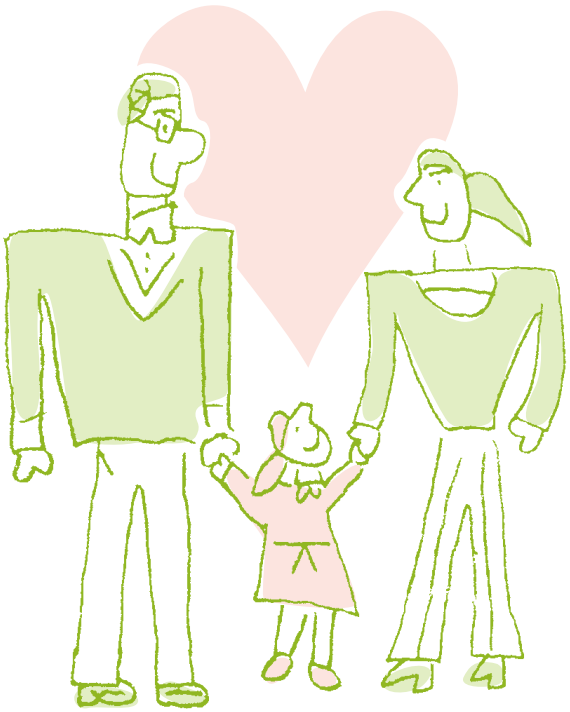
まずはどのくらいの金額が必要かをきちんと把握するためにも、子どもと将来について話し合い、進路をある程度想定しましょう。そして、その進路に沿って「いつごろ、いくら必要か」を表などにして「見える化」すると、月々の貯蓄の計画も立てやすくなります。

教育費＝進学費だけではありません

教育費には、塾や予備校の授業料、大学の受験料も含まれます。資金準備が予定通りできなかった場合は奨学金もありますが、奨学金の多くの場合は「貸与」タイプです。返済のことまできちんと考えておきましょう。



子どもの成長の2本柱となるのが「健康」と「教育」。
どちらもできる限りのサポートをしてあげたいですね。
それぞれに関して親がすべき備えについて、基本的な考え方の再確認をしてみましょう。



扶養者に万が一のことがあった場合も考慮して

子ども自身への備えは万全でも、意外と見落としがちなのが「扶養者、保護者になにかあった場合」のことです。
たとえば家計を支える家族のケガや病気、死亡によって大きく生活が変わると、当然、子どもにも大きな影響が。親の死亡により進路を変更する、などはよく聞かれる話です。
子どもが望む人生を送るためにも、扶養者保障についてもしっかり考え、備えておきたいですね。

「子どもの保障」把握していますか？ 内容と重複をチェックして整理しましょう

	病気 入院	けが 入院	けが 通院	病気 死亡	けが 死亡	個人 賠償保険	○才 まで	備考 (何日目から など)
共済							才	
医療保険							才	
子供保険の特約							才	
生命保険の特約							才	
親の生命保険の特約							才	
学校共済							才	
自動車共済							才	
家族傷害保険							才	
家族交通傷害保険							才	
その他							才	
合計保障額	円/日	円/日	円/日	万円	万円	万円		